

JR高架橋へ接触

品質記録

安全品質管理G記録-013(1)

事故事例水平展開依頼書

安全衛生責任者 	安全衛生副責任者 	安全品質責任者 	安全品質主任 	安全品質部長 
--	---	--	---	---

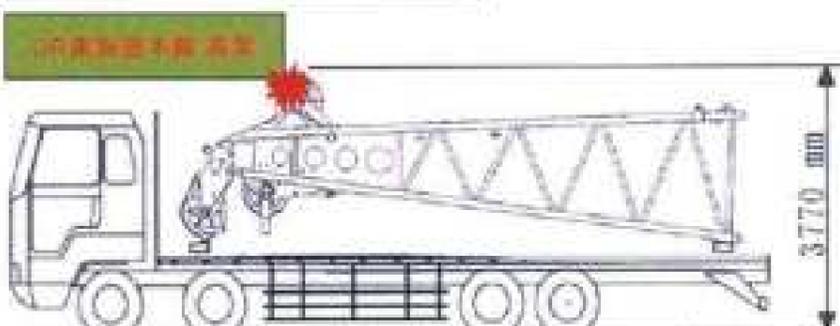
件名 JR高架橋へ接触	日立建機ロジテック㈱	
	報告書No.	2017-09
	報告日	2018/3/16

1. 発生日時 2017年10月29日(日) 午前 3時00分 頃
 2. 発生場所 神奈川県藤沢市

3. 事故状況
 人的被害の有無： 有 無 ケガの有無：無 作業の種類： 正規 臨時
 雇用形態 経験年数：3 年前：43才 物損の有無： 有 無
 物損の程度：クレーントップブーム ワイヤ外れ止めブラケット破損
 10/28(土)出発後、休憩をとった際は積荷確認は異常がなかった。
 翌日、県道藤沢市内を走行中、クレーン機械の横転事故のため警察官より迂回指示を受けUターン、県道を南方面へ進めた。
 前方にJR東海道本線高架橋を確認したが、高さ制限の看板を見落とし高さを把握しないまま徐行にて通過した。
 積降し場到着後、現地担当者より破損の指摘を受けた。

4. 状況写真

高架橋ガード高さ制限 3,700mm



3,770 mm



ブラケット部破損



ワイヤ外れ止め部破損

10t低床(車両の高さ1,350mm+枕木の高さ100mm+トップブーム高さ2,320mm = 合計3,770mm)

5. 事故の原因

- ・積荷の高さを把握しないまま出発してしまった。
- ・当日の運行経路変更から高架橋ガード下走行も含め乗務員の危険予知が不足していた。
- ・雨天により視界不良もあったが、高さ制限の看板を見落としそのまま走行した。
(乗務員に接触したという自覚はなかった。)

6. 事故後の処理

- ・製品をサービス工場へ送り検査修復後再出荷した。
- ・高架橋についてはJRへ確認を取り問題なしの判断を受ける。

7. 備考(貴社内への注意喚起・水平展開、及び協力会社への連絡をお願いします。)

- ・積荷(輸送製品)の高さについては出発前に確認(計測)するように指導をお願いします。
- ・輸送経路の突発的変更が発生した場合の対応については手配元へ確認をお願いします。
- ・ご不明な点があれば当社担当まで問い合わせをお願いします。